

BASEBALL
TEIKYO UNIVERSITY
2015 SPORTS OFFICIAL
YEAR BOOK



TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2015 BASEBALL

帝京大学硬式野球部イヤーブック発刊に寄せて



帝京大学 八王子キャンパス
学生サポートセンター・グループリーダー
強化クラブ室 副室長
山崎 正

帝京大学 八王子キャンパス事務長
強化クラブ室 室長
古張 隆

学校法人帝京大学 法人事務局長
帝京大学硬式野球部 OB会相談役
前田 憲正

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長
冲永 佳史

本学野球部の戦歴を顧みると、昭和43年の秋季リーグ戦から首都大学野球連盟1部に昇格しました。一昨年まで1部に所属する6チームで春秋のリーグ戦で順位を競い、過去3度のリーグ戦優勝は、昭和46年春に初優勝、昭和61年秋、平成9年秋です。昨年から1部リーグ所属校が8校に変更となりました。優勝の二文字を早く聞きたい。

本学OBのプロ野球界で活躍した里崎智也選手は、昨年9月に引退しました。この先輩が本学の優勝を一番強く願っていると思います。さて、昨年秋季リーグでは、久々に東海大学に2連勝し優勝かと思いましたが、優勝を逃してしまいました。勝敗にはさまざまな要因がありますが、優勝のかかった大舞台でも平常心で自分達の実力を出し切ることが要求されます。練習でも本番同様の緊張感で練習し、選手個々の弱点を補強し、チーム力の向上に努めれば、必ず優勝の栄冠を得られるはず。選手諸君のさらなる奮闘を期待しています。

『首都大学野球リーグ』において春季は第3位、秋季は準優勝とあと一歩のところまで優勝を逃し、悔しい結果となった昨シーズン。しかし、大学日本代表候補に選出された西村天裕選手を筆頭に、昨シーズン活躍したメンバーが多数残る今シーズンは、リーグ優勝の期待が高まります。

また、新1年生も入部して新たな風が吹きこみ、今年の硬式野球部はさらに成長を遂げ、会場を沸かせることでしょう。昨シーズン、優勝にわずかに届かなかった悔しさをぶつけ、『首都大学リーグ』優勝、『全日本大学選手権』・『明治神宮大会』の出場権を勝ち取れるよう、チーム一丸となって、全員で切磋琢磨しながら一日一日を大切に過ごしてもらいたいと思います。

まずは4月から行われる『首都大学野球春季リーグ』での活躍を楽しみにしております。さらなる健闘を祈念し、イヤーブックの挨拶とさせていただきます。

今年度は私たち、帝京大学硬式野球部にとり創部50周年という節目のシーズンであり、全国600名以上の硬式野球部OBの期待も高まってきております。

幸いにしてチーム作りは順調で、田口時人主将を先頭に春に行われた恒例の静岡合宿でも例年以上に基礎鍛錬に励み、チーム一丸となってその土台を作っていました。

本学硬式野球部の最大の魅力はその「情熱」と「粘り強さ」にこそあります。部員一人ひとりの野球に懸ける想いを、皆様にも感じていただければ幸いです。私自身も部員・関係者・ファンが一つにまとまって、全国の檜舞台で栄光を勝ち取る日を楽しみにしております。

球春到来の季節がやってきました。この記念すべきシーズン、本学硬式野球部の活躍をぜひスタジアムでご覧ください。

昨秋の『首都大学野球リーグ』ではあと一勝に泣き、1997年秋以来となる4度目のリーグ優勝を逃しましたが、今季のチームはリーグ最優秀投手とともに大学日本代表候補にも選出された西村天裕投手(4年)を筆頭に、ポテンシャルの高い選手が多数名を列ねております。また新1年生も楽しみな選手が多く、例年以上にチーム内の競争も激化しているようです。

ぜひとも、リーグ優勝を果たし、44年ぶりの大学選手権という大舞台で旋風を巻き起こしてくれることを願っております。

そのためには、唐澤良一監督が常日頃言われているように、「より強固な絆」と「素直さ、謙虚さ、朗らかさ」を忘れず勝負に挑んでほしいと思います。

最後になりますが、今シーズンも皆様の温かい御声援を本学硬式野球部に賜りますよう、心より御願ひ申し上げます。





唐澤 良一



何度でも確認させたい部の原点

2015年のオープン戦開幕を目前に控えた、ある日の夕方のことである。監督の唐澤良一は全体練習が終了すると、全員を合宿所内にあるミーティングルームに集めた。いよいよ始まる実戦に備えて、今一度聞かせたい大事な話があるという。集められた部員の表情にかすかな緊張が走る中、唐澤は感情をあらわにすることなく、むしろ淡々と次のことを話した。

「報告、連絡、相談」
「挨拶、返事、反応」
「素直さ、謙虚さ、朗らかさ」
硬式野球部にとって、いわば原点ともとれるキーワード。

唐澤はコーチ時代から含め、このクラブにかかわってきた17年間、何度も、何度も、この言葉を学生たちに説いてきた。そして問ってきた。

部員の中には「今さら」と感じた者も、「またか」と感じた者ももしかしたらいたかも知れない。しかし、唐澤はそうした声をたとえ聞いたとしてもこの日のミーティング内容を決して変えることはしなかっただろう。何故ならば、それはセロからのスタートを意図する原点復帰ではなく、部員がさまざまな経験を積み重ねた上で、今一度確認させたい原点であったからだ。

わずかな気づきが勝敗を分ける

言葉とは不思議なものである。まったく同じ内容を聞かされたはずなのに、聞かされた側の成長により、違う意図に聞こえるときがあるからだ。

たとえば、唐澤が学生たちに聞かせる言葉に「目配り、気配り」という言葉があるが、これをとある日のミーティングで話したとしよう。言葉の意味としては、「自分の生活にかかわるものすべてに目を見張り、気を配りなさい」として話しているが、言葉の意味を深く理解できないうちは、これが単に生活面の指導としか捉えてもらえない。しかし、この言葉の意味を深く理解すれば、私生活のみならず、野球にも通じる面があ

ると理解できるはずだし、学生の本分である「自身を問う」「野球を問う」「学問を問う」ことにつながり、実力が紙一重の厳しい試合展開でも、わずかな突破口を見つけ出す能力につながるはずなのだ。

帝京大学は昨秋の首都大学野球リーグ戦で、前年の全日本王者・東海大学に直接対決で2連勝する結果を残した。

唐澤が監督を任されてからこの4年間で、東海大学にリーグ戦で2連勝したのはこれが初めてのことだが、全日本王者にもなった強敵を相手にこうした結果を残せたことは、学生の自信につながり、同時に彼らの能力は、すでに全日本トップクラスと対等に渡り合えることの証明にもなった。

しかし、その一方で、リーグ優勝を目前にしながら、思わぬ相手に足元をすくわれて、それを「逃す」弱さを露呈する場面も見られた。各試合に向けての準備が一部足りなかったことの証明だ。

「心技体」とはよく言ったものだ。試合前の準備とは、日々の反復した練習の正確性、どんな状況でも動じることない精神の安定、自身の力を出し切れる身体の調整がすべてでできた上で、初めて力を最大限に発揮できるものだが、そのいずれかが欠けると途端に脆さを露呈する。昨年、リーグの頂点に手が届きながら、あと一歩届かなかった要因を挙げるとするならば、わずかな「気づき」が対戦相手に持てなかつたからではな

厳しい勝負の中で、基本を繰り返し説き、学生を育ててきた17年間。今一度原点を見据え、未踏の域に挑む――。

積み重ねた上での原点に



節目の年に臨む覚悟

しかしながら「学生競技」は必ずしも「勝ち負け」ばかりを競うものではない。硬式野球部に在籍する部員が卒業後、プロまたは社会人のクラブで野球を続けられるのは1割にも満たない程度である。残りの9割以上は一般の企業に就職して、野球人としての生活に区切りをつける。だからこそ唐澤は、学生に向けて先の「原点」について、今一度、確認しておきたかったのだろう。

前述のミーティングが始まる前に唐澤は、こんな胸の内を打ち明けてくれた。

「今年の四年生は、私が彼たちの高校時代に、彼たちの高校まで勧誘に行って、ここ（帝京大学）に来てもらった学生になります。もちろん今までも1年1年が勝負だったわけですけど、彼らの4年間を預らせてく

れないかと自分が口にして、彼らに来てもらった分、もちろん責任もありますし、今年には言い逃れができない『本当の勝負の年』になるのではないかと考えているんです」その言葉にはある種の「覚悟」が感じられた。

唐澤には二人の子供がいる。今年、高校を卒業した長女と、中学三年生の長男だ。しかし生活の拠点を学生と同じ合宿所にしている唐澤が、千葉県にある自宅に帰るのは年間50日前後。実子よりも硬式野球部の学生たちと暮らす時間の方が圧倒的に長い。そんな単身赴任の生活がコーチ時代を含めると17年も続いている。17年ものだ。

そこに寂しさや後悔がないと言ったら嘘になる。だからこそ唐澤は、この帝京大学硬式野球部に費やした17年間に答えを出す必要がある。結果を残す必要がある。それが実子の節目の年であり、教え子たちの節目の年となる今年なのだ。

くしくも今年は帝京大学としても創立50周年を迎える節目の年だ。

「硬式野球部は創立当初からありますので、今年で50周年を迎えます。OB会会長からも『節目の年でなんとか優勝を』と言われていますし、自分自身もその思いをひしひしと感じながら今、やっています」

昨年の秋季リーグ優勝を、あと一歩のところまで逃したことで「当然、今年はやってくるはず」と周囲の期待は高まっている。そうした声に対し、唐澤は重圧と捉えることなく、むしろ意気に感じている。

「今、このクラブにはたくさんのお客様が来てくれています。春季キャンプの期間には決して少なくない数の高校生が見学に来てくれましたし、他にも高校野球の監督さん

からプロのスカウトの方まで、こんなに来客が多い年は自分がコーチからかわった17年間で初めてだと思っんです。それだけ注目が高まっている証拠ですね。だから学生たちには常に人に見られているんだよと話をしています。良くも悪くも人の目にとまるわけですから、社会人の自分からしたら当たり前だと思うことでも、まだ社会に出ていない学生たちには、何度何度も同じことを伝えていかなきゃいけない。それを本当の意味で理解するまで、彼らが社会に出て恥をかかない、かかせないためにも、何度も同じことを言い聞かせたいと思っています」

今年の初め。毎年恒例の高尾山登山で、唐澤は自ら群れの先頭に立って登山道を歩いた。例年なら学生の後ろからついていき、学生に楯を飛ばしながら歩いていくのだが、今年はそれをしなかった。

「今年は何ごとも先頭を歩こうと思っています。野球が一番を獲るためにも、私自身も常に先頭を意識しよう」と

そう話す目は、指導生活17年の経験を経て、今一度原点を見つめなおそうとする男の目だった。

が、各月ごとにテーマがあり、失敗を恐れずにとんどん試していこうとか、自分たちでしっかり考えて練習に励んでいます。ベンチに入っていない学生も、仲間に協力をしようとか、チームとしての意識も高まっていると思いますし、シートノックで各ポジションに散る際でも、主将を中心にやって円を作り、軽いミーティングを行うようになりました。

「昨年はおと一歩のところであり、グ優勝を逃しましたが、今年こそ皆さんの期待に応えられるように頑張りますので、応援よろしくお願ひします。」

コーチ

渡邊 諒介

学生の成長に手応え



昨年の春に帝京大学を卒業して、硬式野球部のコーチになりました。学生時代は二年生のときから学生コーチを務め、将来の目標だった指導者になるため、ここで野球を勉強しました。

学生として在籍していた2、3年前に比べると、今年のチームは、攻撃力が着実にアップしていると思います。

昨年は1点に泣く試合が多い1年でしたが、チャンス自体は何度も作っていましたので、そのチャンスを点に結びつける部分が足りなかったところでした。

その点を解消するため、学生たちも自分たちで意見を出し合い、メニューを考えながら日々の練習に取り組んでいます。

今、攻撃力を高めるために『グリップスイング』という練習を毎日行っています。基本は重いバットと軽いバットを組み合わせて振るので、最初は握るだけでも大変で、30回も振ったら学生がみんなバテてしまっていたものが、今はどの学年も表情ひとつ変えずにやっています。そうした姿からも、着実に握力と手首の強化につながったと感じていますし、練習内容からも（リーグ優勝の）手応えは感じています。

また、学生間でミーティングをする機会が増えてきています。昨年から、合宿所でいただいた月一回のペースでやっていたみたいで

INTERVIEW

藤太次 勇

選手の活躍が自分の喜び

学生コーチ

学生コーチを務めて今年で3年目になりますが練習中は選手と一緒に働き合いました。その甲斐があったのか分らないですが、彼が部員全員の記憶に残る活躍をしてくれたので、少しでも自分がそこに携われたことが嬉しかったです。自分も学生生活最後の年になるので、精一杯頑張って、まずは春季リーグの優勝を狙います。



線を引き、選手が集中できるように心がけています。

今年のチームは合宿所でも個人練習をする人数が増えました。遅い人だと22時ごろにトレーニングルームに入っていました。

昨年の東海大学との1戦目で、同学年の森浦が勝ち越しのタイムリーを打ったのですが、試合前日まで構えが定まらなくて、マンツーマンで夜遅くまで練習

INTERVIEW ● RYOICHI KARASAWA

PROFILE

1969年生まれ。大阪府出身。上宮高→帝京大→東芝。帝京大学硬式野球部OBで1999年から12年間コーチとして同部を指導。2011年より監督に就任。2年目の2012年秋には首都大学野球リーグ1部で2位の好成績を残し、明治神宮大会の出場権を懸ける『関東地区大学野球選手権大会』（横浜市長杯）に出場するなど躍進を遂げている。



主将

田口 蒔人

前向きに、ひたむきに



INTERVIEW

—— 大学生活最後の1年が始まりました。今(3月、オープン戦開始直前)の心境を聞かせてください。

意識も変わって、自分がトップに立ってチームを引っ張りたいと思うようになりました」

—— 主将になると聞かされたのはいつごろですか？

「正直、自分が主将になると思っていなかったのですが、下級生のころから試合にも出させてもらっていたので、学年が上がるにつれて

「昨年(三年生)の春ごろですね。監督からは試合に出ている上級生

いけない。でも、言い過ぎたり、言わな過ぎてもダメだと思うので、少し言い方を変えてみたりとか工夫しながらやっています」

怪我を乗り越えてパワーアップ

—— 高校時代は山梨学院大学附属高校の主将として甲子園出場を果たしていますが、大学に来てレベルの違いを感じたところはどんな点ですか？

「スピードですね。走ることもひとつとって、どこの大学も速い選手ばかりですし、足が速いということは守備でボールが飛んできたら焦りが生まれるわけです。そこが高校とは違うと感じましたね。あとはピッチャーのボールのキレ

です。球速は同じ130キロ台でも高校生が投げる球と大学生が投げる球は全然違います。最初は戸惑いましたね」

—— 対応していくためにどのような工夫をしましたか？

「打撃練習でできるだけ打席の前に立って、体感球速を上げました。普段から速い球に慣れておけば本番の打席でも対応できると思ったので」

—— その他に打撃練習で気を付けていることは？

「下半身をうまく使えていないので、重心を低くして上半身ではな

く下半身で打てるように意識してやっています」

—— 4年間、欠かさず続けてきた努力は何かありますか？

「二年生のときに腰の手術をして、リハビリをずっとしていたのですが、その期間にウエイトトレーニングや体幹強化などを重点的にしてきたおかげで、今も継続してやれています。体重も入学当時より7キロくらい増えました」

チャンスをもつにする精神力

—— 昨秋は首都大学リーグ優勝まであと一歩でしたが、リーグ戦の中で思いに残っているゲームは？

「東海大学と対戦した2戦目です。自分たちが点を取ったら、相手も取り返すシーソーゲームだったのですが、最後まで自分たちの勝利を信じ、チーム一丸で戦えたことは自信になりました」

—— 今年優勝をめざすにあたって、どのような相手にも動じない精神力が求められると思うのですが。

「それには試合に臨むまでの準備が大事だと思います。試合前のアップを同じようにしていれば、どこが相手の試合でも同じように入れると思うので、変に意識せずやるべきことをやるといった具合に準備はしています」

—— 試合前のアップは体の準備であり、心の準備でもあるわけですね。

「試合前もそうですし、試合前日までの練習でもそうです。これだけやっておけば厳しい試合展開になっても大丈夫と思うくらいやれば、本番でも余裕ができますし、それで勝てなければ自分たちの実力がそれまでだったと諦めもつきません。常に全力が出せるようになり準備をして試合に臨むようにしたいですね」

メンタル強化で取り入れて

—— メンタル強化で取り入れて

いるものはありますか？

「毎日、日誌を書いています。トレーナーの内田先生に勧められて始めたんですけど、だいたい書き終わるまで40分くらいかかります。その中で『明日につながる言葉』という項目があって、それがきっかけになって、うまくいかないことでも前向きに考えていられるようになりました」

—— 昨年も打順は中軸を任せられていたのですが今年もチャンスで打順が回ってきそうですね。

「はい。とにかく勝負強い1年にしたいです。部屋の壁にも貼ってあるんですけど、今年は打率3割10打点を目標に、その中でも打点にこだわって1年を過ごしたいです」



—— 主将になって、難しいと感じる点はどこですか？

「仲間に関わりなければいけないときに、どう接すればいいのかよく考えます。自分はあまり言い過ぎないようにしているのですが、時と場合によっては言わなければ

いけない。でも、言い過ぎたり、言わな過ぎてもダメだと思うので、少し言い方を変えてみたりとか工夫しながらやっています」

怪我を乗り越えてパワーアップ





首都大学リーグで

帝京大学が所属する首都大学野球連盟とは

首都圏近郊に所在する15大学で構成される、全日本大学野球連盟の傘下組織である。2014年から1部8大学、2部7大学に改編されて、公式戦は春季と秋季にリーグ戦がそれぞれ行われている。また各リーグ戦の終了後に、1部の下位2校と2部の上位2校で入れ替え戦も行われている。

2014
RESULT

首都大学リーグ(1部) 春季結果

	東海大	桜美林大	帝京大	城西大	日体大	筑波大	大東大	東経大	
1位 東海大	—	○	○	○	○	○	○	○	14勝0敗
2位 桜美林大	●	—	○	○	△	○	●	○	8勝5敗1分
3位 帝京大	●	○	—	○	○	○	○	○	7勝5敗2分
4位 城西大	●	●	○	—	○	○	○	○	6勝7敗1分
5位 日本体育大	●	△	●	●	—	●	○	○	5勝6敗3分
6位 筑波大	●	●	○	○	○	—	○	●	5勝9敗
7位 大東文化大	●	○	●	○	●	○	—	○	4勝10敗
8位 東京経済大	●	●	●	●	●	○	○	—	3勝10敗1分

首都大学リーグ(1部) 秋季結果

	東海大	帝京大	筑波大	桜美林大	日体大	城西大	獨協大	東経大	
1位 東海大	—	●	○	○	○	△	○	○	10勝2敗2分
2位 帝京大	○	—	○	○	○	○	○	○	10勝3敗1分
3位 筑波大	●	○	—	○	○	○	△	○	10勝3敗1分
4位 桜美林大	●	○	●	—	○	○	△	○	6勝6敗2分
5位 日本体育大	●	○	●	○	—	○	○	△	6勝7敗1分
6位 城西大	△	●	●	●	●	—	○	○	4勝8敗2分
7位 獨協大	●	●	△	△	○	●	—	○	3勝9敗2分
8位 東京経済大	●	●	●	○	△	●	●	—	1勝12敗1分



相談役 宮台 俊郎

真に活躍できる土台作りを

PROFILE

みやだいとしろう
1949年生まれ。神奈川県出身。帝京大学硬式野球部の二期生でクラブ創生期を支えた。同部の監督を務めたこともあり、現在は相談役として部を支える。

昨年、首都大学野球連盟は50周年を迎えました。数多くの選手、スタッフが築き上げてきた伝統や記録はかけがえのないものであり、本当に素晴らしいことだと思います。

私は首都リーグが発足した1964年から4年後の1968年に硬式野球部の二期生として入学して四年生の春季リーグで優勝、卒業後には監督としても優勝を経験できました。現在は相談役としてベンチから選手たちの活躍を見守っています。野球に打ち込む彼らの姿を見て素晴らしいと感じることも多いのですが、卒業してからも野球を職業にできるのは一握りなのも現実です。大学で過ごす4年間は学生にとって、生涯の友と出会う期間でもあると私は自身の半生を振り返り、そう感じています。クラブを持っている期間よりもクラブを置いてからの期間の方がずっと長いのです。そのことを常に自分の中で考え、社会に出て真の活躍をしてみたいと思います。

硬式野球部を応援しよう!



Annual schedule
年間スケジュール

SPRING [春季リーグ] 4/11(開会式10:00 スタジアムひらつか)~5/30(閉会式) APRIL >> MAY

春季日程(帝京大学のみ)
※試合開始13:00および13:30予定のものは、当日の第1試合の終了時間で変更有り。

- 4/11(土) 13:30 日本体育大学 スタジアムひらつか
- 4/12(日) 10:30 日本体育大学 スタジアムひらつか
- 4/18(土) 10:30 東京経済大学 町田市小野路球場
- 4/19(日) 13:00 東京経済大学 町田市小野路球場
- 4/25(土) 13:00 筑波大学 昭島市民球場
- 4/26(日) 10:30 筑波大学 昭島市民球場
- 5/2(土) 13:00 城西大学 大和スタジアム
- 5/3(日) 10:30 城西大学 大和スタジアム
- 5/9(土) 13:00 獨協大学 川口市営球場
- 5/10(日) 10:30 獨協大学 川口市営球場
- 5/16(土) 13:00 桜美林大学 土浦市営球場
- 5/17(日) 10:30 桜美林大学 土浦市営球場
- 5/23(土) 10:30 東海大学 スタジアムひらつか
- 5/24(日) 13:00 東海大学 スタジアムひらつか

- ### 球場アクセス
- スタジアムひらつか**
●JR「平塚」駅より徒歩20分
●JR「平塚」駅北口よりバス4号線「平塚球場」下車
- 町田市小野路球場**
●小田急線「鶴川」駅より、バス「鶴32」系統多摩センター駅行「下堤」下車、徒歩2分
●京王線「多摩センター」駅より、バス「鶴32」系統鶴川駅行「下堤」下車、徒歩2分
- 昭島市民球場**
●JR中央線「立川」駅乗り換え、青梅線「東中神」駅下車徒歩3分
- 大和スタジアム**
●小田急江ノ島線「桜ヶ丘」駅より徒歩15分
●小田急江ノ島線・相鉄本線「大和」駅より徒歩20分
●大和駅南口より大和市コミュニティバス(のろっ)「南部ルート」で「引地公園」下車徒歩2分
- 川口市営球場**
●JR浜東北線「西川口」駅下車。東口よりバス「東浦和行」で「青木公園」下車徒歩3分
●JR浜東北線「川口」駅下車。東口よりバス「鳩ヶ谷公園住宅行」「新井宿駅行」「東川口南口行」のいずれかで「青木公園入口」下車徒歩3分
- 土浦市営球場**
●JR常磐線「土浦」駅より徒歩5分



AUTUMN [秋季リーグ] 9月上旬開幕予定 SEPTEMBER >> OCTOBER



心身充実の4年間を!

硬式野球部

施設

神奈川県相模原市にある硬式野球部のグラウンド。付近には人工芝が敷いてある室内練習所や2013年に改装されたばかりの豪華な合宿所がある。その全貌を紹介しよう!

合宿所

グラウンド

室内練習所

紹介



笹野将史
(四年 / 寮長)

「オンとオフの切り替えが自然とできる素晴らしい合宿所です」

この合宿所はまず大きいですし、施設も充実しているので非常に満足した毎日過ごしています。個人部屋は二人で一部屋を使っているのですが、個人で使用できるスペースがとにかく広いので、練習ではオン、部屋に戻ってくればオフに切り替えるのが自然とできますし、合宿所の生活と聞くと、くつろげるイメージがありませんと思うのですが、お風呂も入浴施設並みに広いので何不自由ないのが実感です。

野球の面でも合宿所内に室内練習所があるのは助かります。入浴時間(午前0時まで)が決まっているので、それまでの時間ならいつでもバットを振りに行けます。試合前で落ち着かないときは仲間を誘ってティーを打ったり、素振りをしたり、個々で思い思いの練習ができます。食事は管理栄養士の方がメニューを決めてくれてるので、米の量だけでなく、おかずの種類も豊富です。動けて、かつ体を大きくしたいと思ったら最適です。自分も高校のころと比べると体が大きくなりました。また室内練習所に行けば専属トレーナーの内田先生がいるので、コンディショニングを整えるのいろいろなと相談ができますし、他のクラブだったらキャンプバスでしか教えてもらえないことも、合宿所でも話を聞くことができるので、入学してからこの3年間は怪我もなく過ごせています。本当に何から何まで助かっています。

合宿所



食堂
夕食はバイキング形式で必要な量を各自で取ります。



取材当日に部員が実際に食べていたメニュー



個室

学生が使用する個室は18畳とかなり広め。基本は相部屋仕様だがあるので、互いのプライベートをしっかり持つ。



クローゼット

人が2、3人すっぽり入れる広さのウォークインクローゼットが各部屋に完備。



洗濯機(ランドリー)

合宿所内には全28台の全自動洗濯機が設置されている。部員3人で1台を管理しているので練習後の洗濯も混雑しない。

大浴場

入浴施設のような大浴場で気持ちも体もリラックス。すぐ隣には冷風浴も用意されており、試合の多い夏場は交代浴で投球練習後のケアも可能だ。



ミーティングルーム

100名以上が収容できるミーティングルームは、かつて大学の講堂として使用されていた関係で、プロジェクターや音響機器も備わっている。



マネージャールーム

主務と副務が仕事をするマネージャー室。



グラウンド 室内練習所

専用グラウンド

両翼93m、中堅120mの専用グラウンド。8基の照明を完備し、薄暮時や夜間練習でも使用することができる。



室内練習所

人工芝を敷いている室内練習所。4カ所同時のフリーバッティングが可能。投球練習用にマウンドもある。



【休日】	【平日】
起床	起床
朝食	朝食
集合	集合
全体練習	学校
昼食	各自で昼食
全体練習	全体練習
夕食	夕食
自由時間 (風呂、洗濯、自主練習)	自由時間 (風呂、洗濯、自主練習)
就寝	就寝

合宿所

トレーニングルーム

最新のマシンを並ぶトレーニングルーム。大学内のスポーツ医学センターからトレーナーが来訪して選手の健康状態をサポートしている。学生の故障回避にも一役買っている。



酸素カプセル

40分から1時間の使用で練習後や試合後の疲れが取れる。リーグ戦開催時は先発投手の疲労回復が優先されるが、それ以外はすべての部員が使用できる。怪我の回復にも効果的。



超音波マッサージ



ストレッチ



1976年生まれ。青森県出身。幾多の高校でコンディショニングトレーナーを務め、2013年から帝京大学スポーツ医学センターに在籍。硬式野球部のトレーナーのかたわら大学の助教も務める。

内田 幸一
トレーナー



全身鏡

全身鏡は3人がバットを振っても邪魔にならないゆったりした広さ。打球フォームのチェックもここで行う。

ティー打撃場 / バッティングマシン

全体練習後は自由時間を使っての自主練習が可能。マシン、ティーなど打ち込みに最適。



硬式野球部グラウンドのご案内



車の場合
(中央自動車道)
・大月方面から
相模湖I.C.より合宿所まで……………約30分
グラウンドまで……………約35分
・東京方面から
相模湖東出口より合宿所まで……………約20分
グラウンドまで……………約25分

電車の場合
・東京駅～相模湖駅まで
東京駅～高尾駅(JR中央線快速)
高尾駅からひとつ目 相模湖駅下車(JR中央本線)……………約80分
・相模湖駅～寸沢嵐バス停まで(バス)……………約20分
・バス停～硬式野球部合宿所まで(徒歩)……………約10分
～グラウンドまで(徒歩)……………約10分

浅井 拓 [3年]
HIROMU ASAI



医療技術学部スポーツ医療学科
向上高/神奈川県出身
183cm・80kg/右投左打

小山 優樹 [3年]
YUKI KOYAMA



医療技術学部スポーツ医療学科
習志野高/千葉県出身
170cm・72kg/右投右打/二塁手

澤田 和馬 [3年]
KAZUMA SAWADA



医療技術学部スポーツ医療学科
京都翔英高/京都府出身
177cm・72kg/右投左打/二塁手

清藤 達也 [3年]
TATSUYA SEITOH



医療技術学部スポーツ医療学科
東奥義塾高/青森県出身
178cm・77kg/右投左打/二塁手

松岡 孝典 [3年]
TAKANORI MATSUOKA



医療技術学部スポーツ医療学科
京都両洋高/大阪府出身
178cm・77kg/右投右打

緒方 礼央 [4年]
LEO OGATA



医療技術学部スポーツ医療学科
弥栄高/神奈川県出身
173cm・77kg/右投右打/二塁手

奥野 友貴 [4年]
TOMOKI OKUNO



医療技術学部スポーツ医療学科
PL学園高/大阪府出身
175cm・78kg/左投左打/一塁手

加藤 勇斗 [4年]
YUTO KATO



医療技術学部スポーツ医療学科
近江高/滋賀県出身
183cm・89kg/右投右打/一塁手

田口 詩人 [4年]
MAKITO TAGUCHI



医療技術学部スポーツ医療学科
山梨学院大学附属高/神奈川県出身
184cm・85kg/右投右打/三塁手

田辺 裕一 [4年]
YUICHI TANABE



医療技術学部スポーツ医療学科
川崎北高/神奈川県出身
180cm・82kg/右投左打/一塁手

羽藤 樹生 [2年]
JUD HATCH



医療技術学部スポーツ医療学科
玉野光南高/岡山県出身
174cm・75kg/右投右打

黒田 架瑠 [1年]
KAKERU KURODA



医療技術学部スポーツ医療学科
千葉経済大学附属高/千葉県出身
176cm・86kg/右投左打

美濃部 尚己 [1年]
NAOKI MINOBE



医療技術学部スポーツ医療学科
近江高/滋賀県出身
182cm・84kg/右投右打

横山 昇吾 [4年]
SHOGO YOKOYAMA

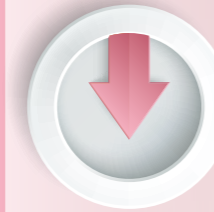


医療技術学部スポーツ医療学科
横浜商業高/神奈川県出身
178cm・79kg/右投左打

大野 僚汰 [4年]
RYOTA OHNO



医療技術学部スポーツ医療学科
南部高/和歌山県出身
176cm・87kg/右投左打/三塁手



CATCHER
捕手

笹野 将史 [4年]
MASAFUMI SASANO



医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県出身
176cm・78kg/右投左打

皆川 健太 [4年]
KENTA MINAGAWA



医療技術学部スポーツ医療学科
習志野高/千葉県出身
185cm・89kg/右投右打

横山 昇吾 [4年]
SHOGO YOKOYAMA



医療技術学部スポーツ医療学科
横浜商業高/神奈川県出身
178cm・79kg/右投左打

高田 風舞 [3年]
FUMA TAKADA



医療技術学部スポーツ医療学科
横浜隼人高/神奈川県出身
178cm・75kg/右投右打

臼井 直哉 [1年]
NAOYA USUI



医療技術学部スポーツ医療学科
上溝南高/神奈川県出身
180cm・68kg/右投右打

関 俊也 [1年]
SHUNYA SEKI



医療技術学部スポーツ医療学科
静岡学園高/静岡県出身
171cm・72kg/右投右打

山頼 建太 [1年]
KENTA YAMATSURA



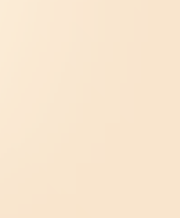
医療技術学部スポーツ医療学科
金光大阪高/大阪府出身
173cm・77kg/左投左打

米村 遥己 [1年]
HARUKI YONEMURA



医療技術学部スポーツ医療学科
八千代松陰高/千葉県出身
178cm・76kg/右投左打

本野 一哉 [2年]
KAZUYA MOTONO



医療技術学部スポーツ医療学科
金光大阪高/大阪府出身
174cm・68kg/左投左打



TEIKYO UNIVERSITY
BASEBALL CLUB
PLAYERS LIST 2015

2015年
帝京大学硬式野球部 プレイヤーズリスト



PITCHER
投手

菊地 丈留 [2年]
TAKERU KIKUCHI



医療技術学部スポーツ医療学科
帝京高/埼玉県出身
173cm・76kg/左投左打

三浦 慎道 [3年]
MASAMICHI MIURA



医療技術学部スポーツ医療学科
甲府工業高/山梨県出身
175cm・74kg/右投右打

板野 拓耶 [3年]
TAKUYA ITANO



医療技術学部スポーツ医療学科
武相高/神奈川県出身
181cm・80kg/右投右打

高橋 駿 [4年]
SHUN TAKAHASHI



医療技術学部スポーツ医療学科
大迫高/岩手県出身
179cm・78kg/右投右打

塚口 大樹 [2年]
DAIKI TSUKAGUCHI



医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県出身
180cm・78kg/右投右打

三木 彰雅 [3年]
AKIMASA MIKI



医療技術学部スポーツ医療学科
青森山田高/大阪府出身
176cm・78kg/左投左打

實川 剛 [3年]
TSUYOSHI JITSUKAWA



医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県出身
175cm・75kg/左投左打

谷林 広紀 [4年]
HIROKI TANIBAYASHI



医療技術学部スポーツ医療学科
平塚学園高/神奈川県出身
173cm・71kg/左投左打

青柳 晃洋 [4年]
KOUYU AOYAGI



医療技術学部スポーツ医療学科
川崎工科高/神奈川県出身
181cm・80kg/右投右打

松本 匠 [3年]
TAKUMI MATSUMOTO



医療技術学部スポーツ医療学科
学法石川高/福島県出身
178cm・85kg/右投右打

西村 天裕 [4年]
TAKAHIRO NISHIMURA



医療技術学部スポーツ医療学科
和歌山商業高/和歌山県出身
176cm・89kg/右投右打

幸浦 公平 [4年]
KOUHEI KOURA



医療技術学部スポーツ医療学科
城東高/徳島県出身
176cm・73kg/右投右打

若林 歩実 [2年]
AYUMI WAKABAYASHI



外国語学部外国語学科
広尾高/東京都出身
156cm

連盟マネージャー

赤川 嘉基 [4年]
YOSHIKI AKAGAWA



医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県出身
177cm・70kg

連盟マネージャー

赤津 耀祐 [3年]
YOSUKE AKATSU



医療技術学部スポーツ医療学科
大井川高/静岡県出身
176cm・70kg/右投右打

学生コーチ

糸川 慶哉 [1年]
KEIYA ITOKAWA



医療技術学部スポーツ医療学科
志学館高/千葉県出身
183cm・82kg/右投右打

木下 和哉 [2年]
KAZUYA KINOSHITA



医療技術学部スポーツ医療学科
横浜隼人高/神奈川県出身
172cm・72kg/左投左打

二宮 和也 [4年]
KAZUYA NINOMIYA



医療技術学部スポーツ医療学科
横浜創学館高/神奈川県出身
178cm・75kg/右投右打



OUTFIELDER
外野手

田中 京介 [1年]
KYOSUKE TANAKA



医療技術学部スポーツ医療学科
滋賀学園高/大阪府出身
185cm・119kg/右投右打/三塁手

河原 龍義 [2年]
RYUKI KAWAHARA



医療技術学部スポーツ医療学科
霞ヶ浦高/茨城県出身
165cm・61kg/右投左打/二塁手

山口 達也 [3年]
TATSUYA YAMAGUCHI



医療技術学部スポーツ医療学科
横浜商業高/神奈川県出身
181cm・82kg/右投右打/遊撃手

熊谷 伊紅美 [4年]
IKUMI KUMAGAI



医療技術学部スポーツ医療学科
川崎北高/神奈川県出身
162cm

連盟マネージャー

佐藤 就登 [4年]
SHUTO SATO



医療技術学部スポーツ医療学科
上宮太子高/大阪府出身
165cm・61kg

主務

寺本 涼大 [1年]
RYODAI TERAMOTO



医療技術学部スポーツ医療学科
金光大阪高/大阪府出身
174cm・74kg/右投右打

林田 竜郎 [2年]
TATSURO HAYASHIDA



医療技術学部スポーツ医療学科
大阪商業大学堺高/大阪府出身
180cm・83kg/右投右打

森浦 将志 [4年]
MASASHI MORIURA



医療技術学部スポーツ医療学科
金光大阪高/大阪府出身
176cm・74kg/右投左打

木原 立遥 [4年]
TATSUNORI KIHARA



医療技術学部スポーツ医療学科
星城高/愛知県出身
181cm・80kg/右投左打

中村 郁人 [1年]
AYATO NAKAMURA



医療技術学部スポーツ医療学科
聖望学園高/埼玉県出身
175cm・76kg/右投右打/遊撃手

佐藤 政斗 [2年]
MASATO SATO



医療技術学部スポーツ医療学科
桜美林高/神奈川県出身
179cm・76kg/右投右打

米田 寛人 [3年]
HIROTO YONEDA



医療技術学部スポーツ医療学科
広陵高/広島県出身
180cm・90kg/右投右打/三塁手

佐藤 瑞紗 [4年]
MIZUSA SATO



外国語学部外国語学科
銚子商業高/千葉県出身
160cm

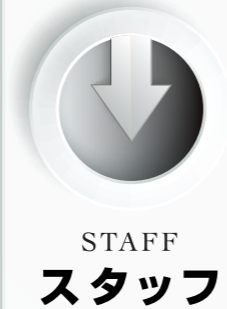
連盟マネージャー

藤野 直仁 [2年]
NAOTO FUJINO



医療技術学部スポーツ医療学科
京都両洋高/兵庫県出身
172cm・74kg

マネージャー



STAFF
スタッフ

松本 大輝 [2年]
DAIKI MATSUMOTO



医療技術学部スポーツ医療学科
PL学園高/大阪府出身
178cm・78kg/右投左打

池尻 翔紀 [3年]
SHOKI IKEJIRI



医療技術学部スポーツ医療学科
県立和歌山商業高/和歌山県出身
176cm・74kg/右投右打

塩見 泰隆 [4年]
YASUTAKA SHIOMI



医療技術学部スポーツ医療学科
武相高/神奈川県出身
179cm・74kg/右投右打

山内 勇人 [1年]
HAYATO YAMAUCHI



医療技術学部スポーツ医療学科
大阪商業大学堺高/大阪府出身
182cm・73kg/右投右打/遊撃手

住友 龍志 [2年]
RYUJI SUMITOMO



医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県出身
178cm・78kg/右投右打/遊撃手

安随 広樹 [2年]
HIROKI ANZUI



医療技術学部スポーツ医療学科
聖望学園高/埼玉県出身
181cm・79kg/右投左打/一塁手

森 夏美 [2年]
NATSUMI MORI



経済学部経営学科
横浜市立南高/神奈川県出身
154cm

連盟マネージャー

青山 拓弥 [1年]
TAKUMI AOYAMA



医療技術学部スポーツ医療学科
東邦高/愛知県出身
171cm・66kg

マネージャー

藤次 勇太 [4年]
YUTA FUJITSUGU



経済学部経済学科
御殿場西高/静岡県出身
174cm・78kg/右投右打

学生コーチ

安並 大輔 [2年]
DAISUKE YASUNAMI



医療技術学部スポーツ医療学科
山梨学院大学附属高/神奈川県出身
170cm・67kg/右投左打

久米 将司 [3年]
MASASHI KUME



医療技術学部スポーツ医療学科
近江高/滋賀県出身
168cm・68kg/右投右打

長安 諒己 [4年]
RYOKI NAGAYASU



医療技術学部スポーツ医療学科
倉敷商業高/岡山県出身
176cm・77kg/右投右打

山野 凱也 [1年]
KAIYA YAMANO



医療技術学部スポーツ医療学科
福岡大学附属大濠高/福岡県出身
184cm・84kg/右投左打/三塁手

増田 一樹 [2年]
KAZUKI MASUDA



医療技術学部スポーツ医療学科
相模向陽館高/神奈川県出身
182cm・82kg/右投右打/三塁手

岩田 康平 [2年]
KOHEI IWATA



医療技術学部スポーツ医療学科
県立和歌山商業高/和歌山県出身
179cm・80kg/右投左打/一塁手

磯部 知明 [2年]
TOSHIKI ISOBE



医療技術学部スポーツ医療学科
横浜商科大学高/神奈川県出身
180cm・78kg/右投右打

西川 尚志 [4年]
NAOSHI NISHIKAWA



医療技術学部スポーツ医療学科
広島商業高/広島県出身
174cm・69kg/右投左打

渡邊 出帆 [1年]
IZUHO WATANABE



経済学部経済学科
御殿場西高/静岡県出身
169cm・86kg/左投左打/一塁手

蛭名 教博 [1年]
TAKAHIRO EBINA



医療技術学部スポーツ医療学科
青森山田高/青森県出身
173cm・72kg/右投左打/二塁手

柏野 拓哉 [2年]
TAKUYA KASHINO



医療技術学部スポーツ医療学科
玉野光南高/岡山県出身
166cm・63kg/右投右打/三塁手



TEIKYO UNIVERSITY
BASEBALL CLUB
PLAYERS LIST 2015

2015年 帝京大学硬式野球部 プレイヤーズリスト





をノートに書いていました。「お母さん、お弁当作ってくれてありがとう」とかチームメイトに「今日は練習に付き合ってくれてありがとう」とかです」

—— 高校時代から練習以外のことも継続してきたことで、意識しなくても体に染み込んでいるものがあると思うのですが。



高校生たちにアドバイス
「帝京大学は学生同士の絆が強くて、上級生から下級生までとても仲が良いです。高校と違って、大人の集団なのでグラウンド内で言い合っても、外に出たら引きずらないように徹底していますし、その環境で社会に出るためのステップをぜひ踏んでもらいたいですね」

「たまにノートを見返したりするのはですが、ダメなときも良いときも文脈とか思考だとかに傾向が出ていて、自己分析ができます。それに気づけたときにノートを書いていて良かったなって思いましたね」



「具体的に成功イメージを浮かべて、そのために今何をすべきか考える」

副主将 緒方礼央の ライフデザインと野球ノート

—— 大学は社会に出る準備期間とよく聞きますが、具体的にどんな授業を受けているのですか？

「学部はスポーツ医療学部ですが、その中でライフデザインという授業があります。これは将来設計をする授業で、これまでの自分の人生を振り返るところから始めるんですけど、そこから今をどう過ごし、将来はどうなるのかを現実的に考えて、目標達成をするために何をすべきかを考えます」

—— これまでの3年間の大学生活で印象に残ることは何かありますか？

「三年生のときに競技演習の授業で、個人が組織のためにどんな行動を心掛けたら、良い組織になっていくのかを学びました。今年から副主将として主将のサポートをはじめ、いろいろな仕事をしていかなければいけない立場ですがとても参考になっています」

—— 野球で学んだことが、社会で通じる面があるように、授業で学んだことが野球に通じる面があるということですね。

「はい。自分の成功イメージを思い浮かべたり、言葉に出すことで、より目標達成に近づくと感じます。弱気な部分とか悪いイメージを持つことは、結果をマイナスに近づ

—— 野球で学んだことが、社会で通じる面があるように、授業で学んだことが野球に通じる面があるということですね。

「はい。自分の成功イメージを思い浮かべたり、言葉に出すことで、より目標達成に近づくと感じます。弱気な部分とか悪いイメージを持つことは、結果をマイナスに近づ



—— 高校時代に「野球ノート」を毎日つけていたと聞きましたが、それはどのようなものだったのですか？

「毎日の練習メニューと、そのときの反省点や改善点を書いていました。そうすることで今日の反省を明日どう活かすのかを考えられますし、練習内容や、起床時間から就寝時間に至るまできめ細かく書き記すことで、悪かったときの原因を探るようにしていました。あとは当たり前のことを当たり前と思わずに感謝の気持ちを伝えようと一日5個以上の「ありがとう」

—— 高校時代に「野球ノート」を毎日つけていたと聞きましたが、それはどのようなものだったのですか？

「毎日の練習メニューと、そのときの反省点や改善点を書いていました。そうすることで今日の反省を明日どう活かすのかを考えられますし、練習内容や、起床時間から就寝時間に至るまできめ細かく書き記すことで、悪かったときの原因を探るようにしていました。あとは当たり前のことを当たり前と思わずに感謝の気持ちを伝えようと一日5個以上の「ありがとう」



INTERVIEW

部長 野尻久雄

「ひびきのことを一生懸命にやった人間は何をやっても強い」

【PROFILE】
のじり ひさお
医学博士。薬学部で生命薬学講座細胞生物学研究室の教授を務めるかたわら、硬式野球部の部長および首都大学野球リーグの部長会長も務めている。

私は普段、東京・板橋にある薬学部勤務しているのですが、週末にはできるだけグラウンドに顔を出し、学生と接するようにしています。

コミュニケーションをとるひとつの手段として最近「LINE」というものを始めました。学生は将来に関することを始め、さまざまな悩みを日々抱えています。そうした声にできるだけ応えたいと私はツールを利用して、なるべく多くのコミュニケーションをとるように心がけています。

ひとつのことを一生懸命にやった人間

は何をやっても強いです。硬式野球部の学生たちは組織の中でどう行動したら良いのかを日々学んでいますから、自ら問題を解決できる能力にも長けています。社会にはそうした学生を欲する企業がたくさんあります。そうした企業には、自信を持って部員を紹介しています。

最後にこれを読んで保護者の皆様へ。大学の4年間は短いようで長く、長いようで短いです。何か心配ごとなどございましたら私に気軽にご相談ください。学生が安心して大学生活を送れるようにするのが私の仕事だと思っています。

■プロ野球へ進んだOB

- 益山 性旭**
(1976年卒→阪神・投手)
- 佐藤 康幸**
(1994年卒→中日→広島→中日・スタッフ)
- 愛敬 尚史**
(1998年卒→近鉄→東北楽天・投手)
- 里崎 智也**
(1998年卒→千葉ロッテ・捕手)
- 窪田 淳**
(1999年卒→阪神→オリックス・投手)
- 山本 賢寿**
(2003年卒→巨人・投手)

■独立リーグ

北信越BCリーグ(石川ミリオンスターズ、富山サンダーバース)

■社会人野球

朝日生命、鷺宮製作所、新日鐵住金かずさジャック、新日鐵住金東海REX、新日鐵住金鹿島製作所、西部ガス、西濃運輸、東京ガス、東芝、日本IBM野洲、日本新薬、JX-ENEOS、日本通運、ニチダイ、日立製作所、七十七銀行、富士重工業、パナソニック、ミキハウス、明治安田生命、三菱重工名古屋、ヤマハ、JR東日本、JR東日本東北、NTT西日本、NTT東日本、茨城ゴールデンゴールズ、熊本ゴールデンラークス、バイタルネット、ヒタチエクスプレス、シティライト岡山、王子製紙、ジェイプロジェクト、エナジックほか

■軟式野球

佐藤薬品工業、京葉銀行、常陽銀行、東芝情報機器、旭鋼管工業、ベスト、キャプティ、日立オートモティブ厚木、青梅信用金庫、千葉銀行、城北信用金庫、リコーロジスティクス、静岡ガス、SGシステム、三洋電機、サンリツ、東京ガスファーストエナジー、宮後工業、ニデック、日本医療企画、カワダほか



帝京大学硬式野球部OB会会長
鈴木好敏

「歴史と伝統」に裏付けされた「組織力」で、勝利を

首都大学野球連盟は、2014年「春のリーグ戦」の開催をもって創立50周年を迎えました。そして本年は、帝京大学が、創立50周年を迎えると同時に、帝京大学硬式野球部も創部50周年を迎える節目の年であります。ここに至るまで、多くの方々のご支援とご協力に支えられて、現在があるということを改めて、全国600名のOBとともに、喜びと感謝を申し上げたいと思います。

さて、この50年という「歴史と伝統」の重みを是非この機会に、学生、選手の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

ご承知のように、野球の試合は、一人ではできません。9人でも18人でも審判員、監督やコーチ、マネージャー等を含めてもまだまだです。目に見えない多くの方々のご尽力ご努力がなければ、試合は成立しません。このことを良く理解し、「集合意識」「集団意識」を常に念頭に置き、個人の利害関係よりも集団の全体的立場を重要視し、集団中心的に行動する先に、「勝利」が見えてくると考えます。

集団も個人の集まりですから、一人ひとりの技術向上はもちろんですが、今期は、特に「歴史と伝統」に裏付けされた「組織力」で、リーグ優勝をめざしていただきたいと思います。そのためには、ルールブックの再認識、健康管理や用具の点検整備等にも気をくばり、また、監督・コーチ・マネージャーとの意思疎通、選手間のコミュニケーション等、さまざまな切り口から「優勝」という最終目標に向け、行動していただきたいと思います。

昨年の秋季リーグ戦において、春季大学日本一の東海大学に連勝したものの優勝を逃したのは、何が足りなかったのか、再度、反省・課題を抽出し、原点回帰(組織力・全員野球)で、4度目のリーグ優勝を実現するためOB会も微力ながら応援させていただきます。

最後になりますが、半世紀をひとつの区切りとしてさらなる野球部の発展に向け関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



「地道な努力が花開き、プロへ道が開けたと言います。」「帝京大学ではスポーツと医療との連携が積極的に進んでいます。プロも見習うべきです」

最先端のトレーニングやコンディショニングについて学べる環境は誇らしいですね。僕も今後は幅広い知識を身につけて、いろんなことにチャレンジしていきたいと思っています」

PROFILE

1976年生まれ。徳島県出身。1995年に帝京大学経済学部に入學し、打撃に秀でた捕手として頭角を現す。1998年にはドラフト2位で千葉ロッテマリーンズに入団し2014年に現役を引退。



1997年秋季大会優勝時の写真。2列目左から3人目が里崎さん。

自由な環境の中でのびのびと野球に集中

逆指名で入団した千葉ロッテマリーンズでは31年ぶりのリーグ優勝、そして2度の日本一に貢献。また2006年のWBCでは日本代表にも選

出され、世界一を経験しました。そんな里崎さんの輝かしいプロ生活の原点は、まさに大学生活にありました。

「徳島から上京した僕にとって、東京は弱肉強食の世界でした。全国から一流選手が集まり、切磋琢磨している。だから能力を発揮し、なおかつ目立った人だけがすくいあげてもらえる厳しい世界。結果を出したときの反響も東京は、間違いでした。大学で

結果を出す喜びと目立つ大切さを学びました」
時には注目されたい一心で、髭を生やしたまま試合に出場したこともあるとか。
「そんなバファーマンズも大目に見てくれる自由な校風でした。のびのび野球ができたことで、結果も伴い、自信がついていきました」
その自信を胸にプロ入り。自己主張の精神はマリーンズでも発揮されました。試合後のマイクパフォーマンスは里崎劇場と言われ、ファンを魅了したのです。

最先端のスポーツ医学はプロも見習うべき

「人よりも目立つことをするには、結果を出す必要があります。結果も出していない人の意見なんて誰も聞いてくれません。だからやることはしっかりとやるのが僕の信条。野球はもちろん、授業も真面目に出席していたので、3年間で卒業に必要な単位はすべて取得できました。毎日続けていた素振りも、すぐに効果が現れるものではありません。コツコツ続けてこそ意味があるんで

卒業生インタビュー 里崎智也さん (元プロ野球選手)

目立つ大切さとプロへの自信を掴んだ大学時代





PLAY BACK 2014



仲間と共に、スポーツの力で多くの人に感動を…
私たちは帝京大学です。

「自分流」で学べる10学部

- 【医学部】医学科 【薬学部】薬学科
- 【経済学部】経済学科 / 地域経済学科 / 経営学科 / 観光経営学科
- 【法学部】法律学科 【文学部】日本文学 / 史学科 / 社会学科 / 心理学科
- 【外国語学部】外国語学科 【教育学部】教育文化学科 / 初等教育学科
- 【理工学部】機械・精密システム工学科 / 航空宇宙工学科 / 情報電子工学科

バイオサイエンス学科 / 情報科学科 (通信教育課程)

- 【医療技術学部】視能矯正学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 臨床検査学科 / スポーツ医療学科 / 柔道整復学科
- 【福岡医療技術学部】理学療法学科 / 作業療法学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 医療技術学科

全国に広がる5つのキャンパス

- 八王子キャンパス / 板橋キャンパス / 宇都宮キャンパス / 福岡キャンパス / 霞ヶ関キャンパス

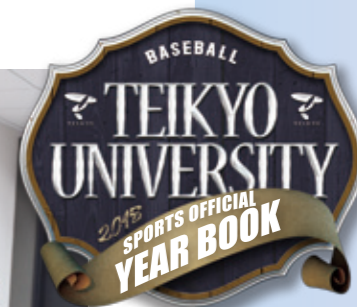
帝京大学硬式野球部

イヤーブック2015

2015年4月発行

FROM EDITOR

2015年2月某日の夕方、遮断機が下がり出した京王線の踏切内で、自転車で転倒し立ち上がれない状態の70歳代の女性を、付近を通りかかった赤川嘉基(四年/連盟マネージャー)が救出した。後日、日野消防署から本人へ「消防総監賞」が贈られたという。普段から仲間を想い、行動する彼らに相応しい咄嗟の判断。社会に出て、大切にしてほしい。(片)



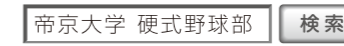
- 編集
永田遼太郎
片山佐知子 (スリーライト)
木谷優 (スリーライト)
- 撮影
川本聖哉
- デザイン
伊藤博樹 (イトウワークス)
- 進行管理
滝川誠人 (スリーライト)
- 写真提供 [p28-29]
帝京スポーツ新聞部
小野寺博
- 印刷
スリーライト
- 発行
帝京大学本部 広報課
東京都板橋区加賀2-11-1
<http://www.teikyo-u.ac.jp>
本誌掲載記事、写真等の無断複写・複製・転載を禁じます。
© TEIKYO UNIVERSITY 2015



帝京大学 硬式野球部公式ホームページ

最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<http://baseball.teikyouniv.jp/>



HACHIOJI CAMPUS RENEWAL

八王子キャンパスリニューアル

最新の施設、設備で学生をバックアップ。 八王子キャンパス新校舎棟「SORATIO SQUARE」誕生!

帝京大学八王子キャンパスでは、キャンパスリニューアルの一環として、地下2階、地上22階の地震構造を採り入れた新校舎棟を建設中です。新校舎棟「SORATIO SQUARE」は、太陽光発電装置の導入や地熱利用等、省エネに配慮しながら、多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体的にデザインすることにより、帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重なりを表現しています。

SORATIO SQUARE

ソラティオ スクエア

宙 × 理性 = 可能性

SORA RATIO

SORATIOとは、果てしない大空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「SORA(宙)」と、ラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語で、帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また、高層部・低層部から成る建物群を「SQUARE(広場)」として捉え、「SORATIO SQUARE(ソラティオ スクエア)」と名付けました。



エントランスホール

センタープラザ



アカデミックラウンジ



演習室

博物館

新校舎棟「SORATIO SQUARE」施設イメージ

I期 2015年5月完成予定(9月使用開始予定)
一般教室のほか、音楽室や模擬授業室等の各種実習室やアクティブラーニング教室を設置します。一般教室では、教員と学生の一体感を持った授業の展開のため、少人数制の教室を90室程度設置します。また、グループ学習室を備えた、常設PC設置空間を作り、学生の主体的学びを支えます。さらに、女性専用ラウンジや地下1階には大学博物館を開館します。

II期 2017年11月完成予定(2018年4月使用開始予定)
一般教室のほか、1000名を収容できる大ホール、席数1000以上の学生食堂を設置します。観覧席を備えたアリーナ棟は、バスケットボールコート、バレーボールコート等を設置する予定です。